

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第20号については最新の台風予報を参照。
- 25日から26日にかけて、高気圧が日本海から北日本付近に移動し、前線が東・西日本太平洋側にのびる。
- 27日は、高気圧は日本の東へ移動し、日本付近は気圧の谷となる。
- 28日から29日にかけて、中国東北区の高気圧が北日本に張り出すが、気圧の谷が東・西日本を進む。

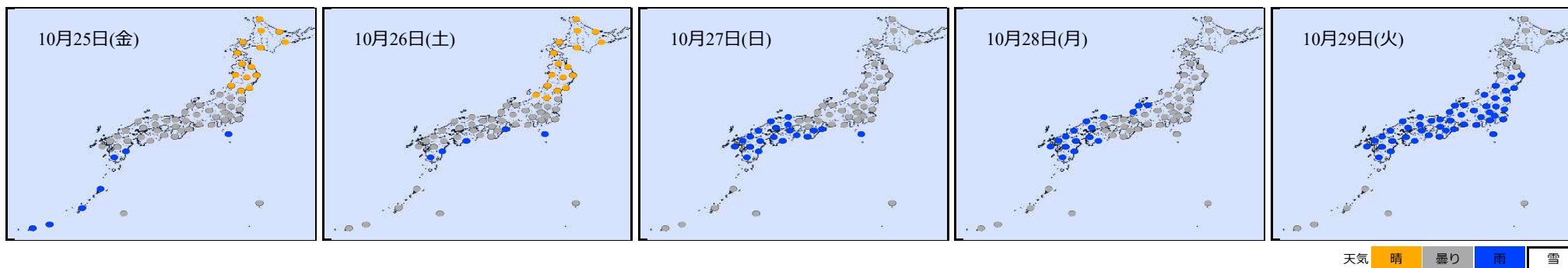
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

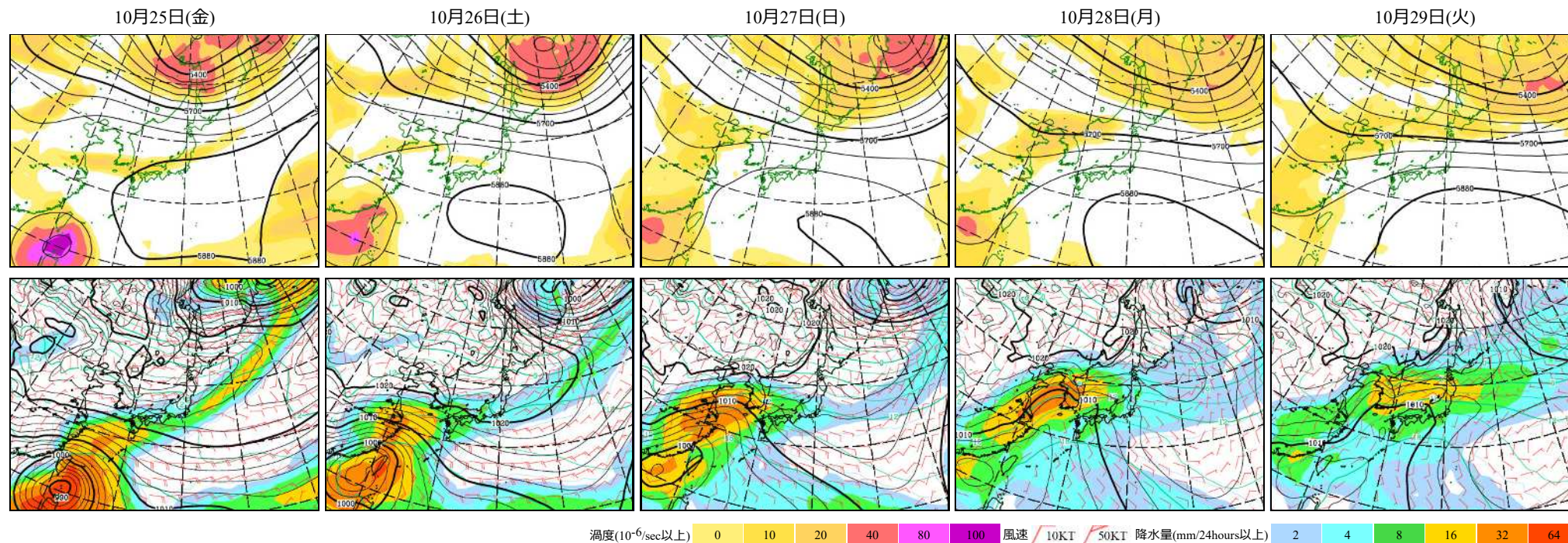
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

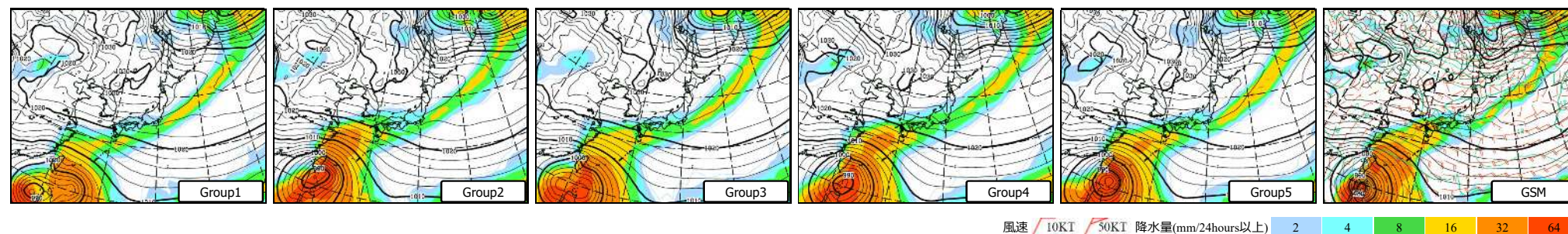


- 北日本は、25日と26日は晴れる所が多い。27日から29日にかけては雲が広がりやすく、29日は雨の降る所がある。
- 東日本は、晴れ間もあるが雲が広がりやすく、雨の降る日もある。
- 西日本は、晴れ間もあるが曇りや雨の日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、25日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆10月25日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、25日は5700m付近のトラフがやや浅くなった。28日から29日は日本の南の高気圧が西日本に張り出す予想になった。
- ENSとGSMは、台風第20号が昨日資料より西に進む予想となり、日本付近の高気圧の張り出しや北日本を進むトラフの予想に初期値変わりが見られる。海外モデルは、日本モデルより台風の西進が早い。また、別の熱帯じょう乱を日本の南に予想する等、モデル間の差が大きくなっている。
- 台風第20号について、ENSのメンバーは台風予報より西進が遅いメンバーが多い。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、ENSよりも台風第20号の西進を早めたシナリオに修正して考える。ENSでは27日から29日にかけて雨の範囲を広く予想するが、台風の西進が早い海外モデルを参考に降水域を縮小する。
- FEFE19では、25日に台風第20号を台湾の南に予想するが、台風予報に合わせてこれを修正する。